



京都大学ICT連携推進ネットワーク

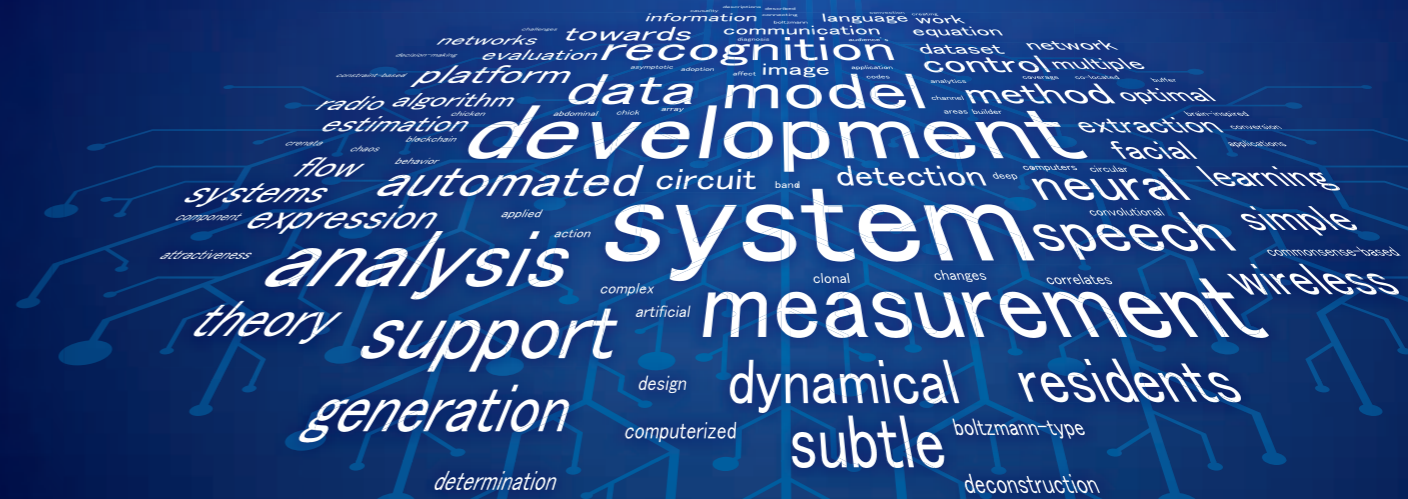
京都大学ICT連携推進ネットワークは、「京都大学ICTイノベーション2009」の成功を機に、そこではぐくまれたヒューマンリレーションを維持発展させるために発足しました。情報学研究科、学術情報メディアセンター、プラットフォーム学卓越大学院プログラムなどの教員、研究員、大学院生と、学外の企業・NPO・自治体等との間で、産官学連携、学学連携、社会連携の基盤となる場を提供します。現在、約120の組織に加入頂いています。企業及び教員双方から数多くの連携の提案が寄せられ、順次マッチングが進められており、その結果、全く新しい共同研究が開始されるなどの成果も出つつあります。連携推進ネットワークへの加入は、原則として複数の教員の推薦に基づいて行われます。是非「第19回ICTイノベーション」にご参加の上、京都大学におけるICT研究開発に興味を持って頂くと共に、このネットワークを広げて頂ければと思います。

ICT連携推進ネットワーク組織一覧（五十音順）

株式会社アイヴィス/アイ・システム株式会社/アクセンチュア株式会社/Acroquest Technology株式会社/旭化成株式会社/株式会社網屋/アライドテレシス株式会社/アンリツ株式会社/株式会社インダ/インフォコム株式会社/NTTコミュニケーションズ株式会社/NTTコムウェア株式会社/株式会社NTTデータグループ・株式会社NTTデータ・株式会社NTT DATA, Inc./株式会社NTTドコモ/オイシックス・ラ・大地株式会社/オークマ株式会社/沖電気工業株式会社/オムロン株式会社/オムロンソフトウェア株式会社/有限会社改/川崎重工株式会社/関西電力株式会社/キオクシア株式会社/キヤノン株式会社/キヤノンITソリューションズ株式会社/京セラ株式会社/公益財団法人京都高度技術研究所/京都市/京都商工会議所/京都府/京都リサーチパーク株式会社/株式会社クエストラ/クックパッド株式会社/グロリー株式会社/KDDI株式会社/株式会社神戸製鋼所/株式会社コーエーテクモホールディングス/株式会社国際電気通信基礎研究所/コマツ(株式会社小松製作所)/株式会社サイバーエージェント/株式会社サミットシステムサービス/株式会社サムスン日本研究所/Sansan株式会社/株式会社ジェイテクト/株式会社島津製作所/シャープ株式会社/株式会社SCREENホールディングス/住友電気工業株式会社/セコム株式会社/ソニーグループ株式会社/ソフトバンク株式会社/大日本印刷株式会社/特定非営利活動法人 多文化共生センターきょうと/チームラボ株式会社/株式会社知能情報システム/TIS株式会社/TSMCデザインテクノロジー・ジャパン株式会社/株式会社データ変換研究所/株式会社デンソー/東海旅客鉄道株式会社(JR東海)/株式会社東芝/東芝デジタルソリューションズ株式会社/株式会社東陽テクニカ/Tocomii株式会社/トヨタ自動車株式会社/株式会社トランス・ニュー・テクノロジー京都研究室/株式会社ナビタイムジャパン/西日本高速道路株式会社/西日本電信電話株式会社(NTT西日本)/株式会社西村屋/日産自動車株式会社/日鉄ソリューションズ株式会社/ニデック株式会社/日本アイ・ビー・エム株式会社/日本経済新聞社/日本製鉄株式会社/株式会社日本総合研究所/日本テキサス・インスツルメンツ株式会社/NEC(日本電気株式会社)/日本電信電話株式会社 NTT R&D/日本放送協会(NHK)/日本マイクロソフト株式会社/日本ラッド株式会社/ノバシステム株式会社/株式会社野村総合研究所/株式会社はてな/パナソニックグループ/特定非営利活動法人 パンゲア/東日本電信電話株式会社(NTT東日本)/東日本旅客鉄道株式会社/株式会社日立製作所/華為技術日本株式会社/フォルシア株式会社/株式会社フジクラ/富士通株式会社/富士フィルム株式会社/富士フィルムビジネスイノベーション株式会社/京都市立堀川高等学校/株式会社堀場製作所/本田技研工業株式会社/株式会社ミクシィ/三菱ケミカル株式会社/三菱重工業株式会社/三菱電機株式会社/三菱電機インフォメーションネットワーク株式会社/村田機械株式会社/株式会社メガチップス/横河電機株式会社/LINEヤフー株式会社/楽天株式会社/リアルワールドデータ株式会社/株式会社LegalOn Technologies/株式会社リクルート/株式会社リコー/株式会社Linfer/ルネサスエレクトロニクス株式会社/ローム株式会社/株式会社ワークスアプリケーションズ

京都大学 第19回 ICTイノベーション

KYOTO UNIV. 19th ICT INNOVATION



情報学研究科、学術情報メディアセンター、プラットフォーム学卓越大学院プログラムなどの教員、研究員、大学院生が研究開発したアルゴリズム、ソフトウェア、コンテンツ等の成果を一挙にポスター・デモ展示します。

2025年2月19日(水)

参加
無料

14:00~17:30(終了後、交流会)

場所 京都大学百周年時計台記念館 国際交流ホール



<https://ict-nw.i.kyoto-u.ac.jp/ict-innovation/19th/>

主催：京都大学大学院情報学研究科・京都大学学術情報メディアセンター・プラットフォーム学卓越大学院プログラム・京都大学成長戦略本部

後援：総務省(予定)・文部科学省・京都府・京都市・京都商工会議所・大阪商工会議所・一般社団法人京都知恵産業創造の森・公益財団法人京都高度技術研究所・公益財団法人大学コンソーシアム京都・京都リサーチパーク株式会社・日本経済新聞社京都支社・京都新聞・京都大学生生活協同組合・近畿情報通信協議会・京都大学大学院教育支援機構

協力：京大オリジナル株式会社

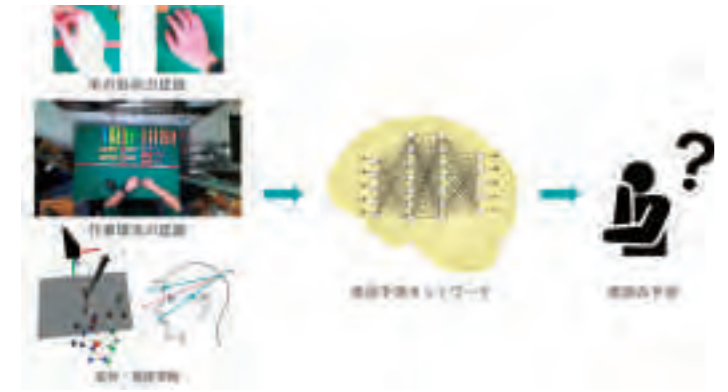
問い合わせ先

京都大学 第19回ICTイノベーション事務局

✉ inquiry@ict-nw.i.kyoto-u.ac.jp

学術情報メディアセンター 発表例

組立作業者への円滑な支援に向けた作業意図予測



その他の発表例

- OpenRoamingにおける利用者情報のプライバシーに配慮した地域間データ連携
- 整数演算を用いた連立一次方程式の求解
- マイクQRコードを活用した自己教師あり学習による動画とテキストの対応付け

大学院情報学研究所 知能情報学コース 発表例

アンドロイド ERICA による国際会議におけるインタビュー対話システム

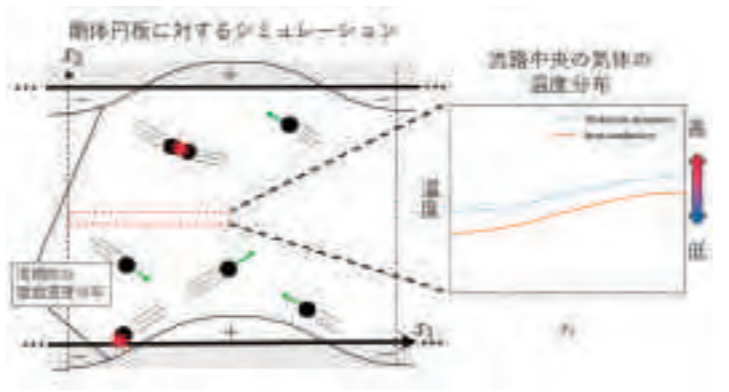


その他の発表例

- 多人数傾聴対話ロボット「きくロボ」
- パーソナリティ情報統合による音声感情認識性能の向上
- Flexible Weight Tuning and Weight Fusion Strategies for Continual Named Entity Recognition
- Between Screen and Soul: How Complex Emotions Affect and Reflect Movie Attractiveness.

大学院情報学研究所 先端数理科学コース 発表例

波型壁面温度をもつ流路内に誘起される流れに対する剛体円板分子動力学

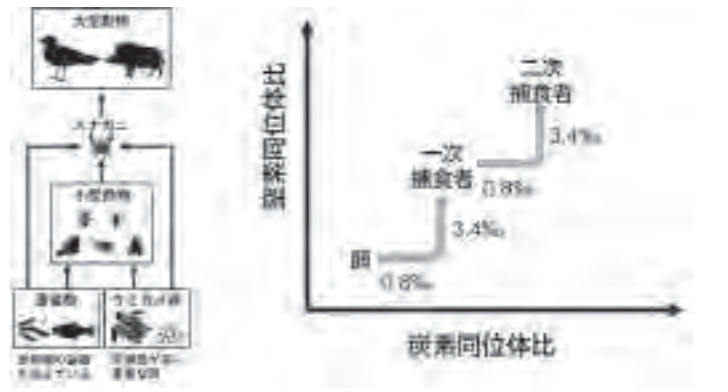


その他の発表例

- 温度場が誘起する分子気体流に対する壁面ポテンシャルの影響
- 1次元バリスティックダイオードに対するスピノルボルツマン方程式を用いた電子の流れの数値解析
- 集光レーザーを用いた微小物質の光熱捕捉実験

大学院情報学研究所 社会情報学コース 発表例

安定同位体分析を用いたスナガニ属の餌におけるウミガメ卵の奇与率の推定

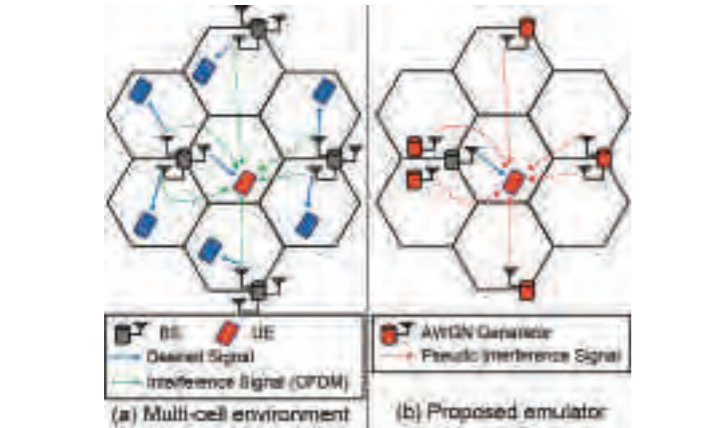


その他の発表例

- LLMを用いた議論の自動評価
- LLMを方策としたエージェントの階層型・対話型エージェント間通信および階層的なサブゴールの自動生成
- 高い分権性が51%攻撃耐性を必ずしも上げるとは限らない

大学院情報学研究所 通信情報システムコース 発表例

疑似干渉発生機構を用いた5Gマルチセル干渉エミュレータ開発

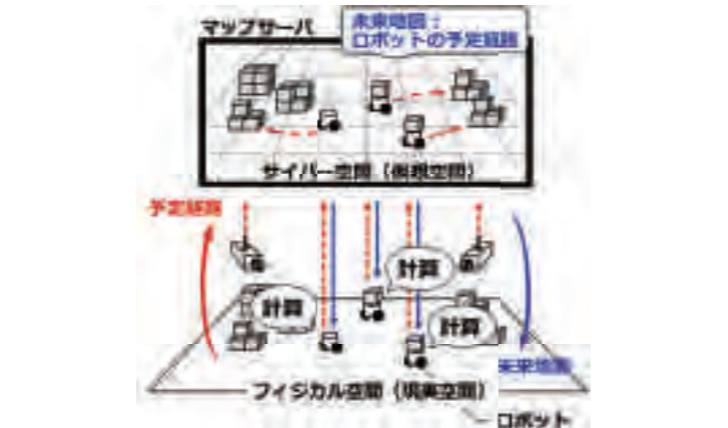


その他の発表例

- 高速移動通信に向けたOFDM変調によるIoT用無線通信システムの伝送距離向上に関する技術開発

大学院情報学研究所 システム科学コース 発表例

未来地図を用いた搬送ロボットの制御：次世代スマートウェアハウスの実現



その他の発表例

- EEG markers for anticipated difficulty of future visual task
- 事前方策学習による低次元行動空間抽出と実環境における物体操り動作獲得
- 弁別学習課題における行動特性と脳活動に基づく精神疾患のリスク評価

プラットフォーム学卓越大学院プログラム 発表例

国際学会における交流促進用アプリの開発と参加者の活動記録の解析



その他の発表例

- データを繋ぎ、人を繋ぎ、専門を繋ぐプラットフォーム学
- データ駆動型農業の経済的影響：販売額1000万円以上への奇与

機構次世代AIプログラム 発表例

3次元骨盤臓器解析システムの開発と拡張現実技術の臨床応用可能性の検討



その他の発表例

- 多様な生成AIモデルを使った診療録からの構造化抽出と臨床研究支援

京都大学 大学院情報学研究所 研究科長

五十嵐 淳



京都大学情報学研究所は、1998年に我が国初の「情報学」の研究科として創設され、約120名の教員と約660名の大学院生を擁する我が国最大規模の研究科です。研究分野は、狭義のICTだけでなく、数理・データサイエンス・AIのほぼあらゆる領域を包含しています。運営費交付金に加えて、毎年様々な公的機関・企業様から約10億円の外部資金を頂いて、独創的・最先端の研究を行っています。「京都大学ICTイノベーション」は、その研究成果を広く発表するとともに、今後の産官学連携・人的交流につなげていく場です。多くの方のご参加をお待ちしています。

京都大学 学術情報メディアセンター センター長

森 信介



学術情報メディアセンターは、学内外の方々と共に研究を進める共同利用・共同研究拠点として、ICTの研究に取り組んでいます。また、そのための環境として、スーパーコンピュータの設計・導入・運用や情報基盤の試用なども行っております。このような活動による成果や知見を様々な学術分野を横断する異分野融合・新分野創成の推進、および学術・社会のイノベーションの創出に活かしていきます。ICTイノベーションでは、共同研究の成果とともに、様々な分野に展開可能なシーズとなる技術を展開いたしますので、本センターとの連携活動の出発点としてご活用ください。

プラットフォーム学卓越大学院プログラム プログラムコーディネーター

原田 博司



京都大学は、2021年度から、5年一貫の博士課程「プラットフォーム学卓越大学院プログラム」を情報学研究所、農学研究所、医学研究所、防災研究所、公共政策大学院が連携してスタートさせました。このプログラムは情報技術と通信技術を融合させた情報学と、情報やデータ創造し、価値創造を行う現場領域(農学、医学、防災等)および文系学術との系統的な連携によりプラットフォーム学を新たに創造し、この複数専攻領域からなるプラットフォーム学の知識と高度かつ独創的な基盤技術に関する研究力を取得できる教育プログラムを提供し、世界を牽引するプラットフォーム構築者を育てるものです。ICTイノベーションでは、このプラットフォーム学卓越大学院の概要、入学・履修関連情報、履修生の研究成果、産官学連携の方法等の紹介をおよび履修生の研究発表を行います。

京都大学 成長戦略本部 本部長

室田 浩司



京都大学は、社会連携を通じて、産業界と共に新たな価値の創造を促進させることで、未来創造に取り組んでいます。特に昨今は、SDGsの達成に貢献すべく、アカデミアの立場から様々な取り組みを行っています。「京都大学ICTイノベーション」は、本学における情報通信技術に関わる最先端の研究成果を広く公開することを通じて、産業界の方々と共にオープンイノベーションを促進し、社会実装に繋げるための企画であり、19回目を迎えることができました。今回の企画を通じて、通信技術分野における本学の先端研究と産業界の優れた技術力や事業構想力が一体となって、希望溢れる未来の創造につながることを期待しております。